

カラダもココロも健康に

いきいきらしいふ

no.88
2025.SUMMER

徳大病院だより

特集

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の 4K3D外視鏡手術について

■CLOSE UP

輸血・細胞治療部について

■徳大病院ニュース

- ・令和7年度「看護の日・看護週間」の取り組みとしてイベントを開催しました
- ・徳島大学病院公式SNSを開設しました

■tokudai-staff information



耳鼻咽喉科・頭頸部外科の 4K3D外視鏡手術について

近年、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域において4K3D外視鏡手術が注目されています。この手法により手術精度の向上や術者の負担軽減が期待されています。今回は、4K3D外視鏡手術について、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の北村診療科長にお話を伺いました。

4K3D外視鏡手術とは

4K3D外視鏡手術とは、体の外に設置した小型カメラで撮影した手術部位の高精細な拡大画像をモニターに映し出し、医師が3Dメガネを着用してモニターを見ながら行う新しい手術手法です。

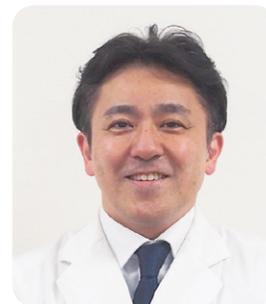
外視鏡手術の特徴

外視鏡手術の大きなメリットは、手技の自由度が高まり、より安全性の高い手術が行えることです。従来の顕微鏡手術では、画像を見るためにレンズを覗き込む必要があり、長時間の手術では執刀医の身体への負担が大きいという課題がありました。一方、外視鏡手術では、執刀医はモニターを見ながら頭を上げた姿勢で手術を行えるため、姿勢の負担が軽減され、より正確で安全性の高い手術につながる事が期待されます。また、小型カメラは観察方向や角度を自由に調整できるため、手術部位が水平方向や見上げる方向であっても、執刀

この技術は、近年のレンズやカメラなどの小型高性能化、および3D画像技術の進歩により実現可能となりました。

医はモニターを見るため姿勢を変える必要がありません。さらに、映像は55インチの大画面に映し出されるため、執刀医だけではなく、指導医や助手、看護師など手術室スタッフ全員が手術の状況を共有できることから、安全性の向上に加え、教育面でも大きなメリットがあります。加えて、特殊光観察機能を利用することで、肉眼では認識できない赤外線観察や、ナローバンドイメージング*による血管の強調が可能となり、病変をより詳細に同定することができます。

*狭帯域光観察技術。特定の光の波長を強調することで、粘膜表面の毛細血管や微細構造をより鮮明に観察する方法。



■説明は
徳島大学病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
診療科長

北村 嘉章
(きたむら よしあき)

■お問い合わせ先
耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来
Tel: 088-633-7166

患者さんへひとこと

医療機器の進歩に伴い、耳鼻咽喉科領域の手術は日々進化しています。今後も、患者さんに安心していただけるよう、より高精度かつ低侵襲な手術の提供に努めてまいります。

一方で、外視鏡手術には不得意な面もあります。手術部位が複数箇所にまたがる広範囲の場合には、都度カメラの位置を変更する必要があり、効率

が下がるためあまり適していません。手術の部位や範囲などの状況に応じて、患者さん一人ひとりに最も適した手術方法を提案しています。



本院での導入状況

本院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、いち早く4K3D外視鏡を導入しました。従来、顕微鏡で行っていた耳科手術や咽頭手術のほとんどを、現在で

は外視鏡手術で行うようになっています。今後も当科では外視鏡手術により、より正確で安全性の高い手術を目指してまいります。

CLOSE UP!



輸血・細胞治療部について

輸血・細胞治療部では、血液製剤の一元管理、輸血前検査、移植関連検査、細胞管理を行っています。今回は、輸血・細胞治療部に輸血療法における安全管理の取り組みについてお話を伺いました。



■説明は

徳島大学病院 輸血・細胞治療部

部長 **三木 浩和** (みき ひろかず) (左から3番目)主任臨床検査技師 **瀧本 朋美** (たきもと ともみ) (左から2番目)

患者さんへひとこと

患者さん一人ひとりに安全かつ適正な輸血療法を提供できるよう、スタッフ一同、日々細心の注意を払いながら業務にあたっています。今後も引き続き、安全管理体制の充実に努めてまいります。

輸血療法とは

輸血療法は、失血や貧血、手術などにより不足した血液成分を補うことで、患者さんの症状を改善する治療法です。輸血は重要な医療行為ですが、感染症のリスクや副反応が生じる可能性もあるため、正確な検査と厳重な管理のもとで行う必要があります。



全自動輸血検査機器

安全への取り組み

輸血・細胞治療部では、厚生労働省の「輸血療法の実施に関する指針」に基づき、患者さんに安全かつ適正な輸血療法を提供するために、24時間体制で血液製剤の一元管理や輸血前検査などを行っています。

輸血前検査として、血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験を実施しており、患者さんの血液と適合する血液製剤かどうかを専門の臨床検査技師が厳重に調べています。

血液製剤は、製剤の種類によって保存温度や有効期間が異なるため、専用保冷库および温度監視システムを用いて24時間体制で厳重な温度管理を行っています。また、血液製剤のラベルは血液型ごとに色分けされており、輸血に関する伝票もそれに準じて同一色で

発行することで、血液型を色覚的に認識可能とし、輸血の取り違えを未然に防いでいます。

すべての血液製剤や検体にはバーコードが付けられ、システムで一元的に管理されています。さらに、人的チェック体制も厳重に行っており、血液製剤の受け渡し時やナースステーションでの準備時におけるダブルチェックに加え、輸血直前には患者さんのリストバンドのIDと血液製剤のバーコードを照合するなど、複数の確認工程を設けることで、輸血過誤防止を徹底しています。このように、輸血療法ではすべての工程において細やかな確認と厳格な管理が行われており、患者さんが安心して治療を受けられる体制を整えています。



血液製剤の血液型別色分け



血液バッグと同色の伝票

徳大病院ニュース 徳島大学病院の最新情報をお届けします

TOKUDAI BYOUIN NEWS

令和7年度「看護の日・看護週間」の取り組みとしてイベントを開催しました

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、広く国民一人ひとりが分かち合うことが必要です。このことを、老若男女を問わずだれもが認識するきっかけとなるよう、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日が「看護の日」に制定されました。

「看護の日」を含む日曜日～土曜日を看護週間とし、看護を身近に感じていただきたいと、全国各地で取り組みが行われます。看護部では、5月12日～16日に外来および入院患者さんへ看護部オリジナルグッズを配布しました。



徳島大学病院公式SNSを開設しました

この度本院では、患者さん・地域住民の皆さんへの情報発信強化などを目的にSNS公式アカウント(Facebook・Instagram)を開設いたしました。

SNSでは病院からのお知らせ、イベント情報、メディア掲載情報などについて写真・動画を含め随時発信してまいりますので、ぜひフォローしてください。



Facebook



Instagram



徳島新聞 デジタル版

地域の話やできごと 国内外の重要ニュース

あなたの「知りたい」に、こたえる

単独ライトプラン

月額 980円



詳しくはこちら





副病院長(診療担当)
滝沢 宏光
(たきざわ ひろみつ)

診療担当の副病院長を拝命いたしました。本院は安全性の高い高度医療を地域の皆様に提供することを使命とする特定機能病院です。各診療科が提供する高度医療を「縦糸」とするならば、それらを繋ぐ病院機能を「横糸」として強化していくことが私の役割と考えております。患者さんやかかりつけ医の先生方に選ばれるだけでなく、医療者にも「ここで働きたい」と選ばれる病院となるよう尽力いたします。よろしくお願いたします。



副病院長(歯科担当)
川人 伸次
(かわひと しんじ)

本年4月から副病院長(歯科担当)を拝命致しました。私は、これまで病院長補佐として執行部に所属していました。歯科領域の麻酔蘇生学・疼痛緩和医療学・救急集中治療医学を専門とし、難治性疼痛の治療に力を注いでいます。四国で唯一の歯学部を有する総合大学としてのメリットを最大限に生かし、特色ある医科と歯科が密に連携した高度な医療を地域の皆様のご要望に沿って提供したいと思います。何卒よろしくお願申し上げます。



治療を実施しています

現在、開発中の医薬品の候補(治験薬)あるいは医療機器を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品や医療機器としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思いますので、**お気軽にお問い合わせください。**

- 肺がん
- 大腸がん
- 金属パネルアレルギー
- 全身性強皮症を伴う間質性肺疾患
- 乳がん
- 尿路上皮がん
- 原発性IgA腎症
- 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 および多発性運動ニューロパチー
- 悪性リンパ腫
- 筋萎縮性側索硬化症
- 慢性流涎症
- 皮膚潰瘍
- 急性冠症候群
- パーキンソン病
- ネフローゼ症候群
- 統合失調症
- 心房細動および心房粗動

ご協力をお願いします。



問合せ：総合臨床研究センター
tel.088-633-9294

各相談等の連絡先

- 患者支援センター
[難病・てんかん・高次脳機能障害など医療福祉相談]
Tel / 088-633-9107 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- がん相談
Tel / 088-633-9438 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 緩和ケア相談
Tel / 088-633-7457 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 肝疾患相談
Tel / 088-633-9002 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 脳卒中・心臓病等に関するご相談
Tel / 088-618-0171 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 遺伝カウンセリング
Tel / 088-633-9218 (9:00 ~ 17:00 (休診日除く))
- セカンドオピニオン
Tel / 088-633-9654 (9:00 ~ 17:00 (休診日除く))
- 総合臨床研究センター [治験]
Tel / 088-633-9294 (9:00 ~ 17:00 (休診日除く))

徳島大学病院へのご寄付

本院では、一層充実した医療を提供するために、寄付金というかたちで皆様のご厚志を生かしていきたいと考えています。皆様のご支援は、①病院設備・サービスの充実②診療環境の充実③医療スタッフの育成④地域医療への貢献のために充てさせていただきます。ご寄付をいただき心から感謝いたします。

- 寄付者のご芳名 ご同意していただいた方に限り、ここにご芳名を掲載させていただきます。
※2025/2/1 ~ 2025/3/31時点 (順不同)
中野 稔様 後藤 加代様
- お申し込み状況 総件数：28件 総額：12,271,000円 ※2024/4/1 ~ 2025/3/31時点
- お申し込み方法 徳島大学病院のホームページでご覧いただけます。
来院中のお申し込みは、経理調達課経理・管理係または、お近くの当院スタッフまでお申し出ください。
- お問い合わせ 経理調達課経理・管理係 (月～金8:30 ~ 17:00) Tel / 088-633-7016

歩きスマホは大変危険ですので
ご注意ください。



 **徳島大学病院**
Tokushima University Hospital

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1

<https://www.tokushima-hosp.jp/>

■ご意見・ご要望は右記までお寄せ下さい。bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp

発行者
編集部部长
広報委員会
委員

病院長 西良 浩一
石澤 啓介
川人 伸次 原田 雅史 滝沢 宏光 板東 美香
藤井 志朗 久保 亜貴子 大川 敏永 桐野 靖
武川 香織 戸崎 美鈴 兒玉 実和 金子 由起
松木 由美 井田 陽子 藤原 慶一 田木 真和
総務課広報・企画係 Tel.088-633-7697

事務担当